

東海林太郎立像、お披露目 直立不動で歌う姿 秋田

2021.3.27 17:27 産経新聞



秋田市の市文化創造館の敷地でお披露目された東海林太郎の立像 = 27日

戦前から活躍し「国民的歌手」と呼ばれた東海林太郎の立像が故郷・秋田市の市文化創造館敷地内に建立され、27日お披露目された。式典には親族や建立に関わった人ら約40人が出席。建立委員会の佐々木三知夫理事長（75）が「建立できたのは、東海林さんが多くの人に愛されていた表れ。人生の集約としての像だ」と話した。直立不動で歌うスタイルで知られた東海林の姿を後世に残そうと、有志が寄付を募った。台湾やロシアといった海外からの寄付も含め目標額の500万円以上が集まった。

トレードマークの丸縁眼鏡やえんぴ服を再現したブロンズ像が、21日にオープンした市文化創造館に設置された。

式典では、最初に寄付した高田晃さん（92）と、寄付者の中で最年少の甲本千花子さん（8）らが除幕。「赤城の子守唄」など3曲を全員で斉唱し、生前の姿に思いを寄せた。